

兵庫県立阪神昆陽特別支援学校いじめ防止基本方針

1 本校の方針

本校は、知的障害のある生徒が、社会的・職業的自立に必要な能力を伸ばすことができる高等部単独設置の職業科の特別支援学校である。また、同一敷地内に併設された県立阪神昆陽高等学校（多部制単位制高等学校）との交流及び共同学習を推進するという特色がある。両校の生徒が、共に助け合って生きていくことを実践的に学ぶ機会を設定することにより、ふれあいを通じた豊かな人間性を育むとともに、社会におけるノーマライゼーションの理念を進展するための礎となる学校を目指している。

そこで、すべての生徒が安心して学校生活を送り、有意義で充実した様々な教育活動に取り組むことができるよう、いじめ防止に向けて日常の指導体制を定める。また、いじめの未然防止を図りながら、いじめの早期発見に取り組むとともに、いじめを認知した場合は適切かつ速やかに解決するため「学校いじめ防止基本方針」（いじめ防止全体計画）を定める。

2 基本的な考え方

教職員は、すべての生徒が学校生活の中で基本的な生活習慣を身につけ、社会的自立・職業的自立に向け自己成長していくことができるよう、個々の生徒の障害特性や生活環境を踏まえた適切な教育を行っている。また、保護者を始め、地域や関係機関との連携を大切にするとともに、個々の生徒の学校生活や家庭生活の状況について、生徒の様子、会話、友だちとの関係、連絡帳からの保護者情報等から把握し、睡眠時間の乱れ等の小さな変化に気づき、早期に対応するよう心がけている。全教職員の共有フォルダーには「副校長の速報ページ」を設け、教職員が常に生徒の様々な情報を共通理解できるようにしている。

いじめに関しては、「いじめはどこにでも起こり得る」という認識を全教職員が持ち、個々の生徒が好ましい人間関係を築くことができるよう、いじめを許さない学校づくりを進めるため、以下の体制を構築し、いじめ防止等を包括的に推進する。

3 いじめ防止等の指導体制・組織的対応等

(1) 日常の指導体制

いじめ防止等に関する措置を実効的に行うため、管理職を含む複数の教職員、特別支援教育コーディネーターによる日常の教育相談体制、生徒指導体制などの校内組織及び連携する関係機関を別に定める。

別紙1 校内指導体制及び関係機関

また、いじめは教職員や大人が気づきにくいところで行われ、潜在化しやすいことを認識し、教職員が生徒の小さな変化を敏感に察知し、いじめを見逃さず早期発見するためのチェックリストを別に定める。

別紙2 チェックリスト

(2) 未然防止及び早期発見のための指導計画

いじめ防止の観点から、学校教育活動全体を通じ、いじめ防止に関する多様な取組みを体系的・計画的に行うため、包括的な取組みの方針、いじめ防止のための取組み、早期発見のあり方、いじめへの対応に係る教職員の資質能力の向上を図る校内研修など、年間の指導計画を別に定める。

別紙3 年間指導計画

(3) 緊急時の組織的対応

いじめの疑いに関する情報を把握した場合やいじめを認知した場合は、情報収集と記録、情報の共有、いじめの事実確認を行い、いじめの解決に向けた組織的対応を別に定める。

別紙4 組織的対応

4 重大事態への対応

(1) 重大事態とは

- ・いじめにより生徒の生命、心身又は財産に重大な被害が生じる疑いがあると認めるとき
- ・いじめにより生徒が相当の期間において、学校を欠席することを余儀なくされている疑いがある場合と認めるとき
- ・「相当の期間」については不登校の定義を踏まえ、年間30日を目安とする。

(2) 重大事態への対応

校長が重大事態と判断した場合、直ちに県教育委員会に報告するとともに、校長を中心とし、学校が主体となり、いじめ対応委員会を組織し、専門的知識及び経験を有する外部の専門家等を加えて調査等を行い、速やかな事態の解決にあたる。

なお、事案によっては、県教育委員会が設置する重大事態調査のための組織に協力し、事態の解決に向けて対応する。

5 その他の留意事項

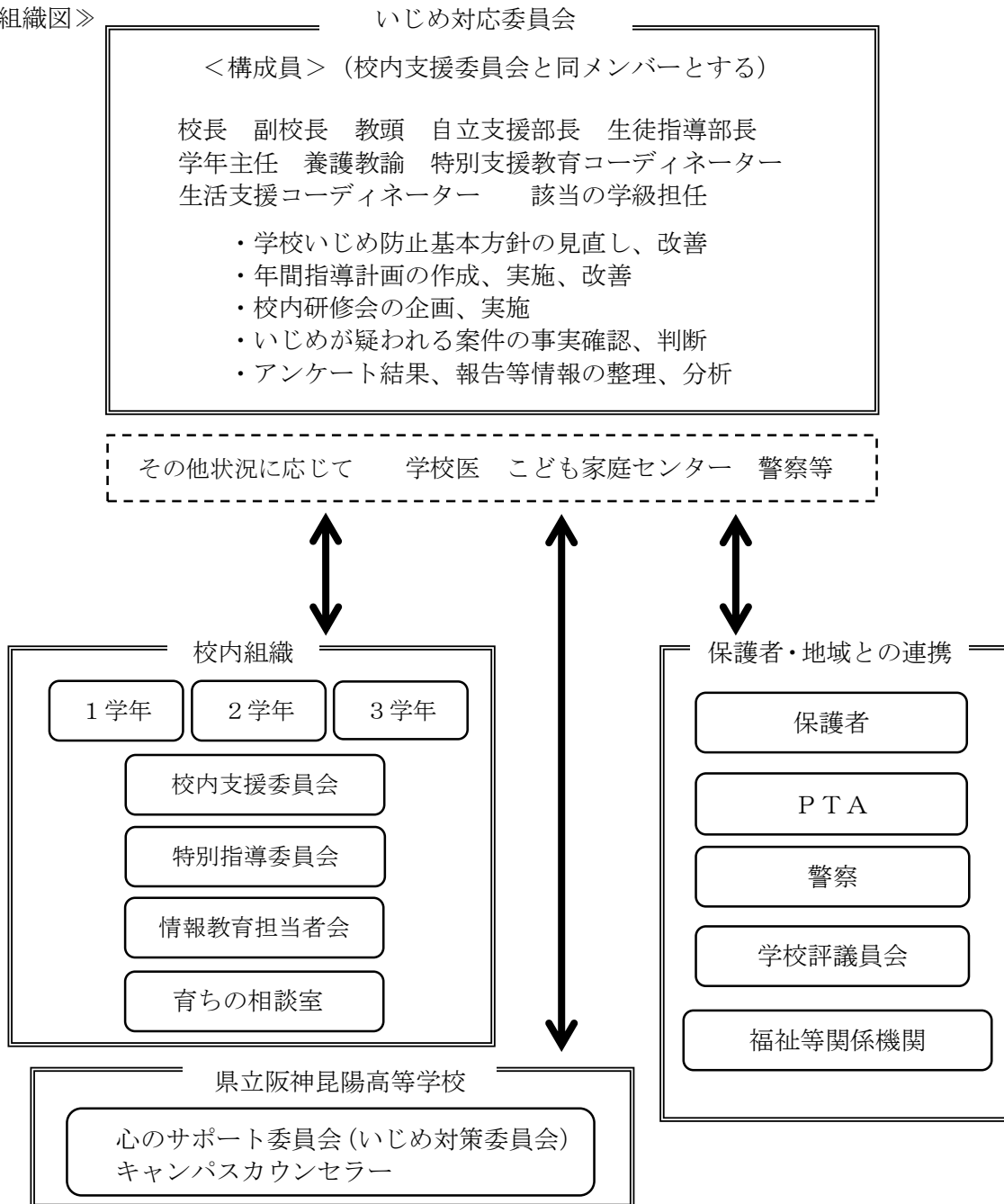
策定した学校の基本方針については、学校のホームページで公開するとともに、学校評議員会を始め、保護者懇談や家庭訪問等あらゆる機会を利用し、保護者や地域への情報発信に努める。

また、いじめ防止等において実効性の高い取組みを実施するため、本校の方針が、実情に即して効果的に機能しているかについて、「いじめ対応委員会」を中心に点検し、必要に応じて方針等の見直しを行う。

校内指導体制及び関係機関

- 1 「いじめはどこにでも起こり得る」「いじめは絶対に許さない」「いじめを根絶する」という強い意志のもとで、学校全体で組織的な取組みを行う。
- 2 いじめ問題への組織的な取組みを推進するため、いじめ問題に特化した機動的な「いじめ対応委員会」を設置し、その委員会を中心として、全教職員で共通理解を図り、学校全体で総合的ないじめ対策を行う。
- 3 組織が有効に機能しているかについて、定期的に点検・評価を行い、生徒の状況や地域の実態に応じた取組みを展開する。

《組織図》



いじめ早期発見のためのチェックリスト

いじめが起こりやすい・起こっている集団

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 朝いつも誰かの机が曲がっている | <input type="checkbox"/> 班にすると机と机の間に隙間がある |
| <input type="checkbox"/> 掲示物が破れていたり落書きがあったりする | <input type="checkbox"/> グループ分けをすると特定の生徒が残る |
| <input type="checkbox"/> 学級やグループの中で絶えずまわりの顔をうかがう生徒がいる | |

いじめられている生徒

●日常の行動・表情の様子

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> わざとらしくはしゃいでいる | <input type="checkbox"/> おどおど、にやにや、にたにたしている |
| <input type="checkbox"/> 下を向いて視線を合わせようとしない | <input type="checkbox"/> 顔色が悪く、元気がない |
| <input type="checkbox"/> 早退や一人で下校することが増える | <input type="checkbox"/> 遅刻・欠席が多くなる |
| <input type="checkbox"/> 腹痛など保健室へ行きたがる | <input type="checkbox"/> ときどき涙ぐんでいる |
| <input type="checkbox"/> 職員室や保健室付近をうろうろする | |
| <input type="checkbox"/> いつもみんなの行動を気にし、目立たないようにしている | |
| <input type="checkbox"/> 友だちに悪口を言われても言い返さなかったり、愛想笑いをしたりする | |

●授業中・休み時間

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 一人でいることが多い | <input type="checkbox"/> 学習意欲が減退し、忘れ物が増える |
| <input type="checkbox"/> 教室へよく遅れて入ってくる | <input type="checkbox"/> 教職員の近くにいたがる |
| <input type="checkbox"/> 発言すると友だちから笑われたり、冷やかされたりする | |
| <input type="checkbox"/> 教職員がほめると冷やかされたり、陰口を言われたりする | |

●昼食時

- | | |
|---|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 食事量が減っていたり、食べなかったりする | <input type="checkbox"/> 黙って1人で食べている |
| <input type="checkbox"/> 他の生徒から机を少し離している | |

●清掃時

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 汚れた物をもたされることが多い | <input type="checkbox"/> 一人で離れて掃除をしている |
| <input type="checkbox"/> 掃除の指示をされている | |

●その他

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 持ち物や机などに落書きをされる | <input type="checkbox"/> 持ち物が壊されたり、隠されたりする |
| <input type="checkbox"/> 部活動を休みがちになる | <input type="checkbox"/> 服に靴の跡がついている |
| <input type="checkbox"/> 手や足に擦り傷やあざがある | <input type="checkbox"/> 怪我の状況と本人の言う理由が一致しない |
| <input type="checkbox"/> 遊び仲間が変わる | <input type="checkbox"/> 必要以上のお金を持っている |
| <input type="checkbox"/> トイレ等に個人を中傷する落書きがある | <input type="checkbox"/> 携帯電話やネットを気にする |

いじめている生徒

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 多くのストレスを抱えている | <input type="checkbox"/> 悪者扱いされていると思っている |
| <input type="checkbox"/> あからさまに教職員の機嫌をとる | <input type="checkbox"/> 特定の生徒にのみ強い仲間意識を持つ |
| <input type="checkbox"/> 教職員によって態度を変える | <input type="checkbox"/> 教職員の指導を素直に受け取れない |
| <input type="checkbox"/> グループで行動し、他の生徒に指示を出す | <input type="checkbox"/> 他の生徒に対してきついことばを使う |
| <input type="checkbox"/> 他の子どもに威嚇する表情をする | <input type="checkbox"/> 認められる場が少ない |
| <input type="checkbox"/> 自分の物でない携帯やゲーム機を手に入れている | <input type="checkbox"/> 仲間同士集まり、ひそひそ話しをしている |

年間指導計画

	職員会議等	未然防止に向けた取組	早期発見に向けた取組
4月	いじめ対応委員会 指導方針・計画等 職員会議※1	全校集会・学年集会 サイバー犯罪防犯教室	担当者間引継 学年懇談会※7 前在籍校との引継
5月	職員研修会①※2 (学校いじめ防止 基本方針)	保健・性教育授業 情報授業 ※3 学校・学級づくり※4 自立活動・道徳・教科 (合わせた授業) ※5	育ちの相談室※7 家庭訪問
6月		生徒:いじめアンケート実施 教職員:チェックリスト活用	連絡帳 学年会 ※6
7月	いじめ対応委員会 アンケート結果の検証 情報交換・計画修正	全校集会・学年集会	
8月	職員研修会②※2 (カウンセリング マインド研修会)	全校集会・学年集会	
9月		生徒:いじめアンケート実施 教職員:チェックリスト活用	個別懇談会※7
10月	いじめ対応委員会 アンケート結果の検証 情報交換・計画修正		
11月			
12月		全校集会・学年集会	個別懇談会※7
1月		全校集会・学年集会 生徒:いじめアンケート実施 教職員:チェックリスト活用	
2月	いじめ対応委員会 アンケート結果の検証 情報交換・計画修正 次年度の計画		
3月	各学年へ情報共有 次年度への申し渡し 課題解決策の検討	全校集会・学年集会	個別懇談会※7

職員会議等

※1 職員会議：本校いじめ防止基本方針の確認と共通理解。
 ※2 職員研修会：カンセング・マインド研修受講教師による職員研修会等の研修会、外部講師による人権やいじめ防止に関する研修。

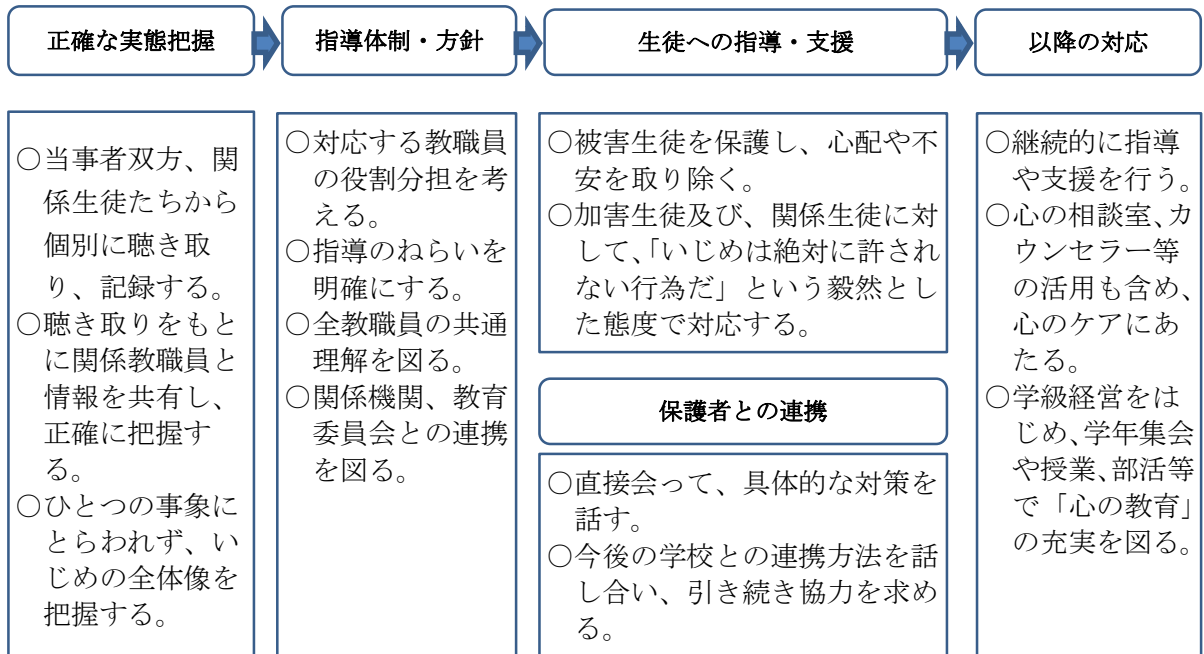
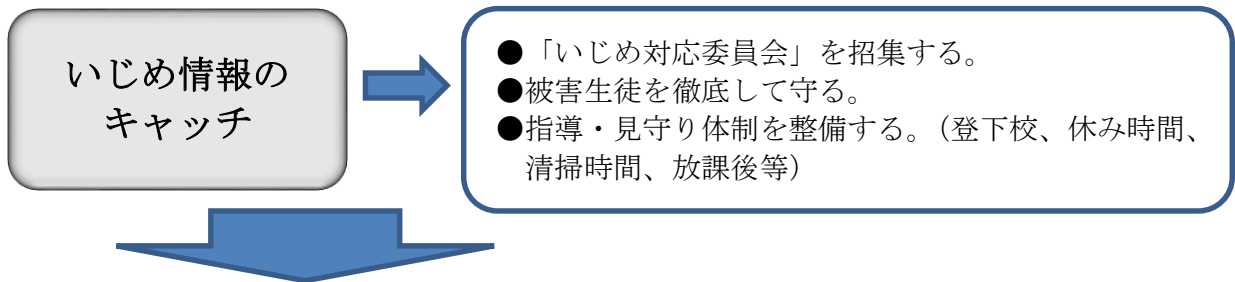
未然防止に向けた取組

※3 保健・性教育授業
情報授業
携帯・スマホの使用上のルールマナーの指導。人との接し方や命を大切に人権意識を高める指導。
 ※4
 ・学級活動 学年活動
 ・部活動
 ・学校行事
 ・生徒会活動
 ・委員会活動
 ※5 道徳・自立活動・教科を合わせた指導等を活用して人間関係の形成や規範意識、人権意識を高める指導を行うとともに好ましい人間関係づくりを図る。

早期発見に向けた取組

○情報収集
 ※6 学年会：生徒の情報交換を行い、学年で共通理解を図る。
 ※7 個別懇談会、学年懇談会 個別の教育支援計画作成にかかわる実態把握を行う。また、保護者と情報共有を図る。日々の連絡帳でも保護者との情報共有を図る。
 ※8 育ちの相談室（月1回） 学校医（精神科）による本人、保護者、教師対象の個別相談を行う。
 ○日々の観察
 担任を中心に教職員は、日々生徒の観察を行う。
 ○情報の共有
 ・副校長の速報ページ
 ・学年会・職員会議等
 ・職員打ち合わせ会等
 ・年度末や年度当初に担当者間での生徒状況の引継

組織的対応



把握すべき情報例

- ◆誰が誰をいじているのか?【加害者と被害者の確認】
- ◆いつどこで起こったのか?【時間と場所の確認】
- ◆どんな内容のいじめか? どんな被害を受けたのか?【内容】
- ◆いじめのきっかけは何か?【背景と要因】
- ◆いつ頃から、どのくらい続いているのか?【時間】

関係機関との連絡・相談・支援

犯罪行為の場合 ⇒ 警察・こども家庭センター

ネットに関わる場合 ⇒ サイバー犯罪対策課

必要な場合 . . . マスコミ対応 ⇄ 管理職